

1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

保険・一般常識 試験問題用紙

(2022年1月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

火災保険の「物件の種類と判定」に関する次の 1 および 2 のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から 1 つずつ選び、その番号を答えてください。

1. 物件の種類と判定について

- ア. 工業上の作業に使用する動力の合計が 50kW、電力の合計が 100kW の設備を有し、作業人員が常時 50 人の工場は工場物件である。
- イ. 住宅建物内に家財以外の動産を一時的に收容する場合、住宅建物、家財および家財以外の動産はいずれも一般物件として取り扱う。
- ウ. けい古事（ピアノ、生花、茶道、裁縫など）や療治（はり、きゅう、マッサージなど）を内職程度に行っている住宅は、一般物件を適用しなければならない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 一つの建物および建物の構造級別について

ア. 一般物件（一般建物）において、1級および2級に該当しない建物（1級および2級の確認ができない建物を除く）は3級と判定する。

イ. 住宅物件（一般建物以外）におけるコンクリート造、コンクリートブロック造、れんが造、石造、鉄骨造またはその他金属で造られた屋外設備・装置は、T構造と判定する。

ウ. 一般物件（一般建物以外）の地下タンクのタンク室の構造級別は、屋外設備・装置による。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題2】

Aさんは、自宅建物に保険金額 3,300 万円で約定付保割合 100%の価額協定保険特約付きの住宅総合保険契約を締結していました。過日、その建物が火災の発生により全焼（全損）するとともに、隣家2世帯の住宅建物4棟のそれぞれ一部が類焼しました。

損害調査の結果、Aさんの建物の罹災時の保険価額は3,300万円で、同建物の損害額は再調達価額（新価）基準で3,300万円、時価額基準で2,900万円と判明しました。また、この火災により、保険の対象の残存物の取片づけに必要な費用として、300万円を要しました。

この場合、次の1～4で支払われる保険金の金額を解答用紙に記入してください。

なお、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

1. 支払われる損害保険金は、いくらになりますか。
2. 支払われる臨時費用保険金は、いくらになりますか。
3. 支払われる残存物取片づけ費用保険金は、いくらになりますか。
4. 支払われる失火見舞費用保険金は、合計でいくらになりますか。

【問題3】

次の1～6の記述は、店舗総合保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険では、火災により損害が生じた保険の対象である設備または装置を再稼働するために要する保険の対象の点検費用、調整費用または試運転費用（副資材または触媒の費用を含み、居住の用に供する部分にかかわる費用を除く）が生じた場合、損害保険会社の承認を得て支出した必要かつ有益な費用に対して、修理付帯費用保険金が支払われる。
2. この保険では、保険の対象または保険の対象を収容する建物から発生した火災等により、第三者の所有物に損害を与えた場合の見舞金の費用に対して失火見舞費用保険金が支払われるが、第三者には被保険者と生計を共にする同居の親族も含まれる。
3. この保険では、門、塀、垣は保険証券に明記されない限り保険の対象には含まれない。
4. この保険では、水道管または水管の凍結による破裂によって保険の対象である建物に損害が生じた場合、「破裂・爆発」には該当しないため、その損害は損害保険金の支払い対象とはならない。
5. この保険では、設計書や図案は、保険証券に明記しなくても自動的に保険の対象に含まれる。
6. この保険では、粉塵や煤煙の飛来により保険の対象である建物に損害が生じた場合、その損害は保険金支払いの対象となる。

【問題4】

Bさんは、同一敷地内に所在し、自分が所有する店舗専用のX建物およびY建物を保険の対象として、甲保険会社および乙保険会社に、付保割合条件付実損払特約を付帯して普通火災保険（一般物件）契約をそれぞれ締結していましたが、火災によりこれらの建物に損害が生じました。保険契約の内容および損害の状況は、次のとおりです。

この場合、X建物およびY建物の損害に対して支払われる損害保険金について、それぞれの金額を解答用紙に記入してください。

なお、保険金の算出にあたっての計算は、その都度端数処理を行わないで連乗するものとし、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

	契約時の保険価額	約定付保割合	損害額	罹災時の保険価額 (時価額)
X建物 (甲保険会社)	2,900万円	80%	1,300万円	3,100万円
Y建物 (乙保険会社)	3,200万円	70%	1,800万円	3,000万円

【問題5】

火災保険の「付保割合条件付実損払特約」および「特殊包括契約に関する特約」に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. 付保割合条件付実損払特約の主契約で規定されている臨時費用保険金は、主契約の規定によって算出された損害保険金の額を基礎として算出される。
- イ. 特殊包括契約に関する特約は、保険契約者には損害に対する十分なカバーを提供し、付保漏れを防ぐために開発されたものであるが、契約手続き面で大幅な労力を要する。
- ウ. 特殊包括契約に関する特約の適用物件は、普通火災保険の工場物件および倉庫物件に限られる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題6】

店舗休業保険、利益保険および営業継続費用保険に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 利益保険では、保険の対象の復旧または営業の継続に対する妨害によって生じた損失は保険金支払いの対象となる。
- イ. 店舗休業保険では、あらかじめ保険の対象の復旧に要すると推定される期間を予想し、保険契約者と協議して損失を担保する約定復旧期間が設定される。
- ウ. 営業継続費用保険の支払保険金は、復旧期間中に実際に要した営業継続費用に対し、復旧期間に応じた支払責任限度額を限度として、実損払いされる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題7】

普通火災保険に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 普通火災保険（倉庫物件）では、風災、雹災、雪災によって保険の対象である建築中の屋外設備・装置に損害を被った場合、その損害は保険金支払いの対象となる。
- イ. 普通火災保険（一般物件）では、総排気量 125cc 以下の原動機付自転車は保険証券に明記されなくても特別の約定がないかぎり自動的に保険の対象に含まれる。
- ウ. 普通火災保険（一般物件）では、それぞれ1回の事故につき保険金額（保険価額限度）の80%に相当する額を超えた場合は、保険契約は保険金が支払われた時に終了する。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題8】

「地震保険に関する法律」に基づく地震保険に関する次の1および2のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つずつ選び、その番号を教えてください。

1. 地震保険の契約について

ア. 分譲マンションのような区分所有建物において、火災保険契約（主契約）を個別付保方式で契約している場合にこの保険を付帯する時には、原則として火災保険契約（主契約）の保険金額を専有部分と共用部分に対する持ち分について個別に設定できるが、主契約の30～50%の範囲内で専有部分・共用部分ともに同じパーセンテージで地震保険金額を設定しなければならない。

イ. この保険が付帯できる保険種目には、住宅火災保険に加え、普通火災保険（一般物件）や住宅総合保険ならびに店舗総合保険も含まれる。

ウ. 同一敷地内に存在し、同一被保険者に属する建物を保険の対象とするこの保険では、複数の地震保険契約が締結されている場合でも、保険金額の合計は5,000万円を超えることはない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 地震保険の支払について

- ア. この保険では、保険の対象である建物が大半損となり保険金が支払われた場合、その保険金支払の原因となった損害の発生したときに地震保険契約は終了する。
- イ. この保険では、保険の対象である生活用動産の損害認定を行う場合、生活用動産を大きく4つ（①食器陶器類、②電気器具類、③家具・衣類寝具類、④身回品その他）に分類し、その中で一般的に所有されていると考えられる品目の損傷状況から生活用動産全体の損害割合を算出し、認定を行う。
- ウ. この保険では、保険契約者や被保険者、保険金を受け取るべき者（これらの法定代理人は除く）の故意または重大な過失により損害が生じた場合、保険金は支払われない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題9】

Cさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、建物の保険金額は4,200万円、生活用動産（家財）の保険金額は1,800万円で住宅総合保険契約を締結しました。その際、同時に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険を付帯することにし、地震保険契約の保険金額を、建物、生活用動産（家財）とも契約できる最高額で設定しました。

過日、地震に起因する火災により、建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。損害の状況が以下の場合、次の1および2の金額を解答用紙に記入してください。

なお、地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額については、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とし、契約始期日および地震発生日は2017年1月1日以降であることを前提とします。また、算出した額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

〔損害の状況〕

	建 物	生活用動産（家財）
損害割合	35%	65%

（注）建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害割合は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害割合とします。

1. 地震保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、それぞれいくらになりますか。
2. 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）に対して支払われる地震火災費用保険金は、それぞれいくらになりますか。

【問題 10】

次の1～4の記述は、火災保険による債権の保全について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 質権は、手形や株主権などの債権も目的物とすることができるため、抵当権に比べ目的物の範囲は広がっている。
2. 保険会社以外の第三者に質権設定を対抗するためには、質権設定承認書や質権設定の裏書きをした保険証券に登記所または公証人役場で確定日付を押印してもらえばよい。
3. 質権が設定されている火災保険契約の解約について、債権者に対し事前事後にかかわらず解約の通知が必要である。
4. 1つの保険金請求権に対し複数の質権が設定されている場合、質権の順位は、質権を設定した前後ではなく確定日付の取得の有無もしくは確定日付のある通知が損害保険会社に到達した時の前後で判定する。

【問題 11】

次の1～6の記述は、新種保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 動産総合保険では、地震もしくは噴火、またはこれらによる津波による損害は相対的免責であるため、特約を付帯すれば補償される。
2. 組立保険で対象とする工事には、給排水設備等の建物に付帯される設備の据付工事や上下水道工事が含まれる。
3. 賠償責任保険（施設所有（管理）者特別約款）では、契約対象となる施設にデパートや映画館、体育館などは含まれるが、工場や学校は含まれない。
4. 土木工事保険では、橋梁工事中に強風で型枠や仮設建物が倒壊した場合、その損害は保険金支払いの対象となる。
5. 建設工事保険では、ビル・工場建物・住宅などの建築工事（増築・修繕・解体工事を含む）を主体とする工事が保険の対象となる工事とされる。
6. 機械保険では、保険の対象である機械を納入する者が被保険者に対して法律上または契約上の責任を負うべき損害を与えた場合、その損害は保険金支払いの対象とはならない。

【問題 12】

自動車保険の対物賠償保険に関する次の1および2のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つずつ選び、その番号を答えてください。

1. 被保険者について

- ア. 許諾被保険者が更に別の者に自動車を使用させている状況、いわゆる「また借り」の借主は被保険者に含まれる。
- イ. この保険では、婚姻の届出をしていないが記名被保険者と事実上婚姻関係と同様の事情にある者が被保険自動車を使用または管理している場合、その者は被保険者とはならない。
- ウ. この保険では、記名被保険者と同居する親族（6親等内の血族）は、常に被保険者となる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 保険金支払いについて

- ア. この保険に「対物賠償保険の示談交渉に関する特約」が付帯された場合、1回の対物事故につき、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の総額が保険証券記載の保険金額を明らかに超えるときには、保険会社は示談交渉を行うことができない。
- イ. この保険では、保険金請求権が発生した時の翌日から起算して3年を経過した場合、保険金請求権は時効により消滅する。
- ウ. この保険では、被害者の損害賠償額の直接請求と被保険者の保険金の請求とが競合した場合には被害者に対し優先して保険金を支払う。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 13】

次の1～6の記述は、損害保険契約に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 被保険者が損害保険契約の当事者以外の者である場合、当該被保険者は保険契約の利益を享受する。
2. 保険金額が保険価額を下回る一部保険の場合、保険者が行うべき保険給付の額は、保険法上、てん補損害額に保険金額の保険価額に対する割合を乗じて得た額としなければならない。
3. 保険者は、損害保険契約の締結時において、過失により保険契約者または被保険者の不告知や不実告知の事実を知らなかった場合、損害保険契約を解除することができない。
4. 保険者が損害てん補責任を負うための要件の一つに、「保険事故と損害の間に因果関係があること」がある。
5. 保険事故により保険の目的物に損害が発生した場合で、その後に当該損害に係る保険の目的物が保険事故以外の事由で滅失したときでも、保険者は、最初の保険事故による損害についてはてん補しなければならない。
6. 損害防止費用についてはてん補損害額ではないため、損害防止費用とてん補損害額の合計が保険金額を超えている場合であっても、保険金額の外枠払として損害防止費用の全額を負担しなければならないが、保険約款において独自に内枠払とし、保険金額を限度に支払うことができる旨を規定することも可能となっている。

【問題 14】

次の1～3の記述は、損害賠償に関する法律知識について述べたものです。□にあてはまる最も適切なものを下の選択肢から1つずつ選び、その記号を教えてください。

1. 民法では、不法行為による損害賠償請求権について、一部の例外を除き被害者等が損害および加害者を知った時から3年間または5年間行使しないときに加え、不法行為の時から □ **1** □ 年行使しないときも消滅する。

《選択肢》

ア. 10

イ. 20

ウ. 30

2. 土地の工作物の設置または保存に瑕疵があった場合は損害賠償責任が発生するが、その際に免責の規定がないために「無過失責任」となるのは、 □ **2** □ である。

《選択肢》

ア. 使用者

イ. 占有者

ウ. 所有者

3. 特殊の不法行為のうち、免責の規定が存在しないものの1つに □ **3** □ がある。

《選択肢》

ア. 責任無能力者の監督義務者等の責任

イ. 公権力の行使に基づく不法行為責任

ウ. 製造物責任

【問題 15】

次の1～3の記述は、リスクマネジメントについて述べたものです。□にあてはまる最も適切なものを下の選択肢から1つずつ選び、その記号を答えてください。

1. 純粹リスクは、損失を被る可能性だけがあるリスクをいい、オペレーショナル・リスクが該当するが、□ **1** はオペレーショナル・リスクに含まれない。

《選択肢》

ア. 財務リスク イ. 環境リスク ウ. 法務リスク

2. 近年コーポレート・ガバナンスの重要性がクローズアップされているが、これはリスクマネジメント・システムの構築における □ **2** にあたる部分の対応である。

《選択肢》

ア. リスク・コストの管理 イ. 危機管理 ウ. 内部統制の強化

3. 製造物責任事故予防対策（PLP）において、消費者による製品の誤使用などの事故発生の可能性を検討し、これらの危険を排除するために安全装置の設置等の安全対策を講じるのは、□ **3** の欠陥の予防対策である。

《選択肢》

ア. 設計上 イ. 製造上 ウ. 指示・警告上